

講座会場へのアクセス

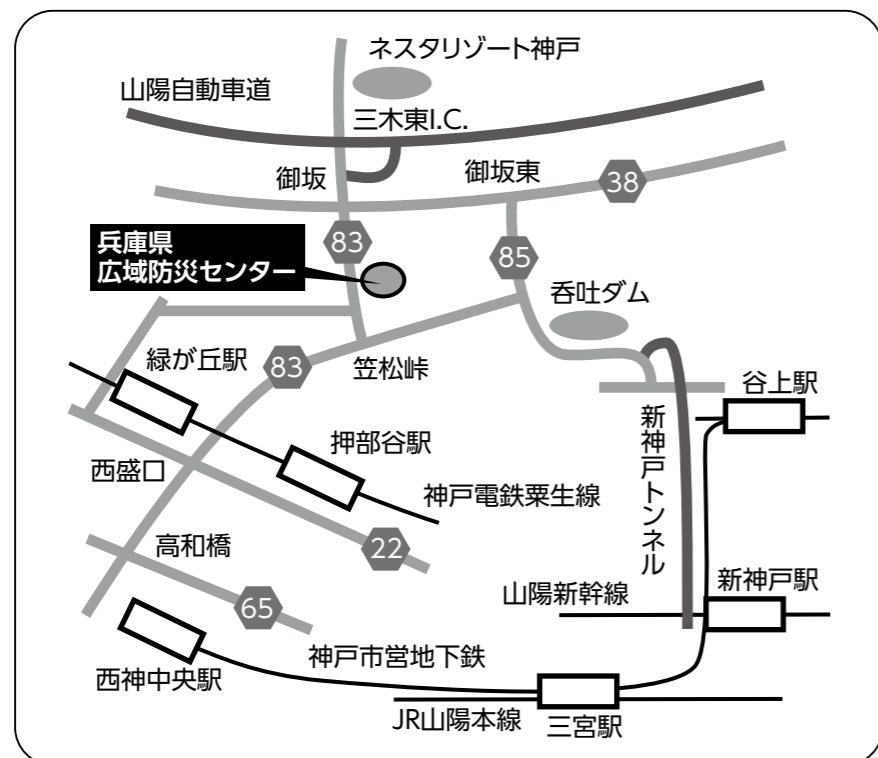
- 車でお越しの場合
 - ・神戸市営地下鉄「西神中央駅」より約20分、三宮駅より約40分
- バスでお越しの場合
 - ・神戸市営地下鉄西神中央駅※(乗り継ぎ)、神戸電鉄「緑が丘駅」からバスでお越しいただけます。
(次の時刻表を参考にして下さい。) ※西神中央駅バスターミナル10番乗り場 (R3.7.1現在)

神姫バス時刻表 (土・日)

往路	系統名：[81] 西神中央駅 → 緑が丘駅		系統名：[6] 防災公園行き 緑が丘駅 → 消防学校	
	発	着	発	着
	8:20	8:55	9:10	9:24
	8:55	9:21	10:10	10:24
9:25	9:51			

神姫バス時刻表 (土・日)

復路	系統名：[6] 防災公園行き 消防学校 → 緑が丘駅		系統名：[81] 緑が丘駅 → 西神中央駅	
	発	着	発	着
	16:44	16:58	17:26	17:51



■ 郵送での申込先・問い合わせ先
〒673-0516 三木市志染町御坂1-19
兵庫県広域防災センター防災教育担当
電話：0794-87-2928

令和4年度 ひょうご防災リーダー養成講座

受講者募集

この講座は、地域防災の担い手となるリーダーの養成講座です!!

募集開始：2022年8月8日(月)～定員に達し次第終了

令和4年8月6日から兵庫県広域防災センター(三木市)の研修用宿泊施設の利用を開始します。これに伴い新たに宿泊型の実践的な研修や、地域で実践を行う担い手がお互いに知り合うことができる新しい研修プログラムを取り入れるなど、平成16年開講以来、ひょうご防災リーダー講座をリニューアルし、防災に関する知識・技術を習得し、地域での普及啓発や防災訓練等への参画・支援ができる方を養成するため、研修宿泊型カリキュラムによる研修を実施致します。



2022年8月6日(土)

兵庫県広域防災センター研修宿泊施設利用開始



兵庫県

令和4年度 ひょうご防災リーダー養成講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう！～

令和4年8月6日に兵庫県広域防災センター（三木市）の防災研修用宿泊施設の利用を開始致します。これにより新たに宿泊型で実践的な研修や地域で実践を行う担い手がお互いに知り合うことができる新しい研修プログラムを取り入れるなど、ひょうご防災リーダー講座を平成16年開講以来、大幅な手直しを行い、防災に関する知識・技術を習得、地域での普及啓発や防災訓練等への参画・支援ができる方を養成するために策定した研修宿泊型カリキュラムによる研修を実施致します。

近年、毎年のように豪雨、台風による浸水、土砂災害による被害が発生しています。また、地震も頻発しております。特に南海トラフ地震、首都直下地震、また日本海溝、千島海溝沿いの地震の発生も懸念されることです。さらに、新型コロナウイルス感染症禍での避難所運営も懸念されることです。

こうしたことを踏まえ、今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめとした様々な自然災害や原発事故等の大規模事故、また、市民レベルで考えなければならない感染症対策にも焦点を当て、人命の安全を第一に考え、行政はもとより県民一人ひとりの防災への取り組みをより一層促進させる必要があります。

このような観点から、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「令和4年度ひょうご防災リーダー講座」を10月上旬から約3ヶ月間にわたり、1泊2日の宿泊型研修を計3回6日間開講します。

日程 令和4年10月1日、2日（1回目）、11月26日、27日（2回目）、12月10日、11日（3回目）の6日間

会場 兵庫県広域防災センター内の管理棟、日赤災害支援センター、宿泊施設 他

受講対象 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとされる方で、兵庫県内在住、在勤、在学（高校生以上）の方
※過去に防災リーダー講座を修了し、既に「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は応募することができません。

募集人員 50名※宿泊可能が研修を受講する条件になります。

※なお、同講座につきましては、1月、2月、3月に同様の講座を開講する予定です。
(研修中は、コロナ感染症対策のため、常時マスク着用、手指消毒に努め、検温等は適宜実施致します。研修当日及び研修期間中に発熱等体調不良の方については受講をご遠慮願います。)

申込期間 令和4年8月8日（月）～定員に達し次第終了

受講料 無料（教材等の一部実費負担あり）

宿泊料 有料（宿泊費、食事代、懇親会費）※宿泊及び宿泊施設に関することは別添資料参照のこと

修了要件
○全ての講義に宿泊して参加できる方
○21講目の補完レポートを完成のうえ、12月10日には必ず提出すること
○普通救命講習修了（事前に終了するか、講座受講期間中に消防本部等で受講・修了すること）

講座修了後は… 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただきます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法 インターネットでお申し込み下さい。広域防災センターのホームページアドレスは、<http://www.fire-ac-hyogo.jp/> の「令和4年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページから必ずお申し込み下さい。（裏面住所参照のこと）
なお、FAXでの申し込みは受付けません。

「ひょうご防災リーダー養成講座」

※下記のカリキュラムは、1泊2日の宿泊型研修（6日間）となっております。また、講師等の関係により日程等変更することがあります。

回	10:00	第1時限 (10時30分～11時50分)	第2時限 (12時50分～14時10分)	第3時限 (14時25分～15時45分)	第4時限 (16時～17時20分)	食事等	18時30分～20時
第1回	開講式	国難（パンデミック含む）と地域の災害に備える 関西大学社会安全学部教授 河田 薫昭 氏 人と防災未来センター長 河田 薫昭 氏	避難のあり方と避難行動ワークシヨップ（EVAG）（風水害版） 「いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練 EVAG」 国土防災技術(株) 技術本部 第二技術センター長 土佐 信一 氏	地域防災と超広域大規模災害に備える 神戸大学大学院現代社会学部教授 松山 雅洋 氏	地域防災と超広域大規模災害に備える 神戸大学大学院現代社会学部教授 松山 雅洋 氏	著名講師との意見交換会	著名講師との意見交換会
第2回	8:45 OR	第1時限 (9時～10時20分) 行政の危機管理（感染症対策含む） 元総務省消防庁副長 菅田 哲男 氏	第2時限 (10時35分～11時55分) 地域における災害時要援護者対策 兵庫県立大学教授 阪本 真由美 氏	第3時限 (12時55分～14時15分) 過去の災害に学ぶ大規模災害への備え ～主として都市、産業、構造物の立場から～ 名古屋大学名誉教授 福和 伸夫 氏	第4時限 (14時30分～15時50分) 大規模災害時の複合災害（感染症含む）における避難のあり方（在宅避難含む）について 東京大学大学院教授 廣井 悠 氏		
第3回	10:15 OR	第1時限 (10時30分～11時50分) 風水害の発生メカニズムとその対応 神戸地方気象台防災気象官	第2時限 (12時50分～14時10分) 地区防災計画と地域防災の実践活動とその課題 関西大学 社会安全学部 教授 近藤 誠司 氏	第3時限 (14時25分～15時45分) 被災者の生活支援・災害時要援護者対策（ワークシヨップ） 関西大学社会安全学部教授 山崎 栄一 氏	第4時限 (16時～17時20分) 地域の自主防災組織におけるタイムラインを活用した災害対応向上訓練 東京大学生産技術研究所准教授 沼田 宗純 氏	食事等	著名講師との意見交換会
第4回	8:45 OR	第1時限 (9時～10時20分) 東日本大震災からの復旧・復興の課題を再提起し得る災害に活かす 京都大学防災研究所 教授 牧 紀男 氏	第2時限 (10時35分～11時55分) 地域防災との取組事例について 兵庫県立大学環境人間学部教授 木村 玲枝 氏	第3時限 (12時55分～14時15分) 地域防災と超広域大規模災害に備える 神戸大学名誉教授 北後 明彦 氏	第4時限 (14時30分～15時50分) 地震・降雨に起因する地盤災害 (地すべり、斜面崩壊、落石など) 関西大学 社会安全学部 教授 小山 倫史 氏		
第5回	10:15 OR	第1時限 (10時30分～11時50分) 南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地域について 関西大学社会安全学部教授 奥村 与志弘 氏	第2時限 (12時50分～14時10分) 事業継続計画について インフォコム株式会社 サブビジネス事業本部 デジタル・サステナビリティー事業部 危機管理主任コンサルタント 高橋 克彦 氏	第3時限 (14時25分～15時45分) 地域防災力向上のための避難所運営訓練（HUG）及びワークシヨップ（講義及び演習） (感染症対策含む) 兵庫県広域防災センター職員 神戸市立看護大学教授 神原 咲子 氏	第4時限 (16時～17時20分) 夜間における避難所運営ワークシヨップ 【神原 咲子氏、広域防災センター職員】	食事等	著名講師との意見交換会
第6回	8:45 OR	第1時限 (9時～10時20分) 地域防災と災害ボランティアについて 前ひょうごボランティアラワー所長 高橋 守雄 氏	第2時限 (10時35分～11時55分) 災害情報と地域と人命を救う一環として考えた防災 国土部大学教授・元NHK解説委員 山崎 豊 氏	第3時限 (12時55分～14時15分) 地域の防災リーダーに期待すること 神戸大学名誉教授 室岡 益輝 氏	第4時限 (14時30分～15時50分) 閉校式 防災士試験（希望者のみ）		

○修了要件

① 原則、すべての授業に出席できる方

② 21講目補完レポートを提出（必須）

③ 普通救命講習修了（原則、事前に修了するか、講座受講期間中に消防本部等で受講・修了すること）

